



学校図書館セット貸出

# 世界を知るセット

Meet the World

小学校低学年向

国立国会図書館

国際子ども図書館

この冊子は、学校図書館セット貸出し  
「世界を知るセット」（小学校低学年向）  
の解説です。

児童生徒を指導する際の参考にご利用  
ください。

## ものしり絵本国旗

ひらいふみと 作・絵 田中義一 監修

PHP 研究所 2005 年

2005 年 8 月現在の外務省ホームページの情報をもとに、世界 192 カ国の国旗を紹介した本。各国の位置が地図上で確認できるようになっているほか、首都、面積、人口などの基本情報も記載されている。巻末には国旗の色やモチーフなどデザイン別にグループ分けをした表があり、似たもの同士の国旗の比較などもできて興味深い。索引は国名の 50 音順。絵本や物語を読んだあとで、興味を持った国について調べてみるのも面白いだろう。

## せかいのひとびと

ピーター・スピーアー えとぶん 松川真弓 やく

評論社 1982 年

大型絵本の見開きいっぱい、地球上の様々な場所で様々な生活が繰り広げられている様子が緻密に描きこまれており圧巻である。子どもたちは、世界の人々の驚くばかりの多様性に圧倒されることであろう。原書は 1980 年の出版であるため、統計上の数字については現在のデータで補足する必要がある。ちなみに、2005 年の世界人口は約 64 億人（『世界人口白書 2005』より）。

## まるいちきゅうのまるいちにち

エリック・カール ほか 作 安野光雅 編

童話屋 1986 年

世界 8 カ国の絵本作家たちが、グリニッジ標準時 1 月 1 日午前 0 時から丸一日間の、8 カ国の子どもたちそれぞれの様子を描いた絵本。見開き 2 ページが 8 つの枠に区切られており、同時刻の子どもたちの様子を一度に見比べてみるができる。日本の元日の朝 9 時に、他の国の子どもたちはいったい何をしているだろう。昼夜も違えば季節も違う、地球上のまだ見ぬ国々。地球儀などで実際にその国の位置を確かめながら読むと、より理解が深まるだろう。

## はがぬけたらどうするの？

セルビー・ビーラー 文 ブライアン・カラス 絵 こだまともこ 訳

石川烈 監修

フレーベル館 1999 年

乳歯が抜けた時、抜けた歯をどうするか。世界中から集めた、66 の言い伝えや風習を紹介した絵本。巻末には歯のことが分かる知識のページがある。歯が生え変わる時期の子どもたちが異文化に触れるのに最適である。

## こども世界の民話 上・下

内田莉沙子 ほか 著

実業之日本社 1995 年

本書は語りのテキストとしてよく使われている『子どもに聞かせる世界の民話』全 81 話の中から、約半数の 42 話を選びすぐり、子どもたちが自分で読みやすいように文章を練り直したもの。世界各地の昔話を優れた翻訳で楽しむことができる。活字が大きく、ルビが丁寧にふられているので、本が苦手な子どもにも読みやすい。もちろん読み聞かせにも向く。

## 子どもに語るアジアの昔話 1・2

松岡享子 訳

こぐま社 1997 年

アジア各地から採集した昔話集。アジア地域のユネスコ加盟国による共同出版事業として、1970 年代に出版された英訳本がもととなり、挿絵は各地の画家たちの手によるもの。第 1 巻は、知恵者でトラにもワニにも勝つことのできるシカが、ほんの小さなカタツムリに負けてしまう「りこうなシカ」（インドネシア）など 13 話、第 2 巻は、バニヤンの葉に小石を投げつけて模様をくりぬく技を持つ少年の話「小石投げの名人タオ・カム」（ラオス）など、14 話を収録。南アジアや中東（西アジア）の昔話も含まれている。

## だいくとおにろく

松居直 再話 赤羽末吉 画

福音館書店 1967 年

激流の川に橋を架けるよう頼まれた大工。そこに鬼が現れて、目玉をくれたら代わりに橋を架けてやろうと言い、橋を架けてしまう。目玉をとられないようにするため、大工は鬼の名前をあてることになる。

赤羽末吉の迫力ある絵が子どもたちを魅了する、日本の昔話絵本。このように名前をあてる話は世界中に類話があり（「トム・ティット・トット」『イギリスとアイルランドの昔話』\*1、「ルンペルシュティルツヘン」『子どもに語るグリムの昔話 1』\*2 等）、他の国の話と比較してみるのも面白い。

\*1：セットには含まれておりません。お近くの公共図書館等をご利用ください。

\*2：セットに含まれております。

### ソリちゃんのチュソク

イ・オクベ 絵と文 みせけい 訳

セーラー出版 2000年

韓国のチュソク（秋夕）は日本のお盆にあたり、家族みんなでふるさとに戻り、先祖にお参りをする行事である。ソリちゃんと両親は、おばあちゃんや親戚と一緒に、故郷でチュソクを迎える。現代韓国の都会と田舎の様子、伝統的な風習などが、絵の中に丁寧に描き込まれており、興味深い。

### 花仙人

松岡享子 文 蔡皋 画

福音館書店 1998年

中国明代の短編小説集『今古奇観』中の話をわかりやすく再話した絵本。花を愛する老人の庭が悪人に奪われようとした時、花の精たちが現れ、悪人たちを懲らしめて庭を救う。やがて老人は天に昇り、花仙人となる。庭を描いた挿絵が美しい。

### 子どもに語るモンゴルの昔話

蓮見治雄 訳・再話 平田美恵子 再話

こぐま社 2004年

家畜や野生動物と共に生きてきたモンゴルの人々の間で生まれた昔話。「ツバメとアブ」、「石になった狩人」、「草原の白い馬」など全15話を収録。狩りや牧畜を主な仕事とし、ゲルという移動住居に暮らす遊牧民の生活をうかがい知ることができる。声に出して読み、子どもたちと口承文芸の世界を共有したい。

しーっ！ぼうやがおひるねしているの

ミンフォン・ホ 作 ホリー・ミード 絵 安井清子 訳

偕成社 1998年

ぼうやを寝かしつけるお母さんは小さな蚊やニワトリなどの動物たちに呼びかける。「しずかにして。ぼうやがおひるねしているの」。タイの人たちの耳がとらえた、動物の鳴き声の表現が興味深い。のどかなタイの農村の風景が味わえる絵本。

### ต้นไม้ใกล้ตัว (タイ語)

#### 身のまわりの木\*

1995

第11回野間国際絵本原画コンクール奨励賞受賞作品。タイの人たちにとってたいへん身近な果物の木と、木の周りに集まる子どもたちが生き生きと描かれている。声調のあるタイ語には、発声するとおのずとリズムやメロディーが生まれるが、タイの絵本には内容より音楽的効果に主眼が置かれた韻文詩が施されているものが多い。この絵本にも果物をテーマにした韻文詩が添えられている。タイ文字の独特な形が興味深い。

\*：タイトルは参考訳です

### めんどりのさがしもの

フランシス・アルカラス さいわ・え ふせまさこ やく

新世研 2001年

めんどりはカラスから美しい首飾りを借りるが、その首飾りが欲しくてたまらない。そこで、偽の首飾りをカラスに返し、本物は土の中に埋めて隠してしまう。しかし、結局はカラスにばれて、あちこち掘り返して首飾りを探しだそうとするが…。動物の行動の由来をユーモラスなお話で説明したフィリピンの昔話絵本。

### ぞうのマハギリ

#### महागिरि (ヒンディー語)

#### ಮಹಾಗಿರಿ (カンナダ語)

ケシャブ・シャンカール・ピライ 再話 プラク・ビスワス 絵

みやちとしこ 訳

グランまま社 2002年

インドの昔話絵本。普段は象使いに従順でとてもおとなしい象のマハギリが、ある日突然逆らいはじめる。けれども、それは小さな猫の命を救うためだった。再話はインドの神話、昔話、創作絵本、児童文学の普及に努めた高名な政治漫画家ジャンカール、挿絵はジャンカールの弟子プラク・ビスワスによる。1965年の初版以来、英語、ヒンディー語、カンナダ語、マラーティー語、タミル語など、インドの多くの言語で版を重ね、インドの古典絵本として親しまれている。

### きつねのホイティ

シビル・ウェッタシンハ さく まつおかきょうこ やく

福音館書店 1994年

『かさどろぼう』\*で第3回野間国際絵本原画コンクール佳作を受賞した、スリランカの絵本作家ウェッタシンハの創作絵本。きつねのホイティは、干してある洗濯物をちょっぴり拝借して人間になりすまし、親切な村人の家でおいしい夕飯にありつこうと思いつく。けれども村のおかみさんたちのほうがホイティよりも一枚うわ手で…。現地の作家による衣、食、住の描写が興味深く、とりわけ、スリランカやインドの民族衣装サリーの色彩が目眩しい。

\*:セットには含まれておりません。お近くの公共図書館等をご利用ください。

### 魔法使いのチョコレート・ケーキ

マーガレット・マーヒー 作 シャーリー・ヒューズ 画

石井桃子訳

福音館書店 1984年

ニュージーランドの作家マーガレット・マーヒーの短編集から、8編のお話と2編の詩を収録。魔法の腕はよくないが素晴らしいチョコレート・ケーキを作る魔法使いの物語「魔法使いのチョコレート・ケーキ」はじめ、作者の奔放な想像力から生まれた不思議な話が子どもたちを魅了する。読書力のある子ども向け。

### ちいさいおうち

ばーじにあ・りー・ばーとん ぶんとえ いしいももこ やく

岩波書店 1965年

田舎の美しい丘の上に建てられたちいさいおうち。太陽や月が空を

廻るさまや、移ろいゆく季節を、ゆったりと見守りながら、静かに暮らしていた。ところが月日の経つうちに、ちいさいおうちの周りには大きな道路ができ、工場が建ち、月明かりではなく街の灯が夜を照らすようになる。急速に都市化が進む社会とそこに暮らす人々を、ちいさいおうちの視点から描いたアメリカの古典絵本とも言える作品。1942年初版、1943年コルデコット賞受賞。

### かもさんおとおり

ロバート・マックロスキー 文・絵 わたなべしげお 訳

福音館書店 1965年

かものマラードおくさんが、こがもたちを連れて、ボストンの町を練り歩く。かもの行列のために交通整理を買って出る警察官、温かく見守る町の人々など、日常のささやかな出来事を楽しむおおらかな姿が小気味良い。1942年コルデコット賞受賞。

### Make way for ducklings (英語)

#### かもさんおとおり

By Robert McCloskey

Viking Press 1969

『かもさんおとおり』\*の原書。こがもたちの英語の名前が、頭文字をアルファベット順に変えただけであるなど、英語ならではの言葉遊びが面白い。

\*:セットに含まれております。

### 太陽へとぶ矢

ジェラルド・マクダーモット さく じんぐうてるお やく

ほるぷ出版 1976年

太陽神の放った命の矢に射ぬかれた娘が、男の子を身ごもる。成長した男の子は、まだ見ぬ父を求めて太陽へと向かう。そして、父が課した数々の試練を乗り越え、大いなる力を得て、少年は再び大地へと帰っていく。アメリカ先住民に伝わる物語を、デザイナーでもあるマクダーモットが独特の挿絵で絵本化。1975年コルデコット賞受賞作。

### A mountain alphabet (英語)

## 山のアルファベット\*

Text by Margriet Ruurs Art by Andrew Kiss

Tundra Books 1996

カナダのアルファベット絵本。アルファベット全 26 文字を頭文字とする事物が描かれているほか、絵の中に文字の形が隠されており、文字探しを楽しむことができる。アメリカ大陸の壮大な自然や人々の生活の様子、多様な動植物など、絵でじっくりと味わってもらいたい。

\*: タイトルは参考訳です

## クリスマスまであと九日

マリー・ホール・エッツ, アウロラ・ラバスティダ 作

マリー・ホール・エッツ 画 たなべいすず 訳

富山房 1974 年

先住民の文化とスペイン移民の文化が混じり合い、独特の文化を形作っているメキシコを舞台にした絵本。「ポサダ」とは、クリスマス前の 9 日間に毎晩開かれる特別なパーティーのこと。小さな女の子セシが、生まれて初めてポサダをしてもらえることになり、その日を心待ちにする様子や、パーティーの準備のためにマーケットに行く様子などが丁寧に描かれている。

## ミラクルバナナ

ジョルジュ・キャストラ, ロドニィ・サン・エロワ 作

ルイジアーヌ・サン・フルラン 絵 加古里子 文

学習研究社 2001 年

バナナの紙でできた絵本。バナナは、東南アジアや南米など、暑い地域で育つ多年生草本、つまり「草」である。茎の丈は高いもので 10m に達するが、収穫後は切り倒され、捨てられる運命にある。そんなバナナの茎を原料に、南米のハイチと日本の共同プロジェクトにより、古代和紙の製法を用いて、この本のバナナ紙は作られた。ぜひその感触を楽しんでもらいたい。ちなみに、2005 年のバナナ生産量 1 位はインド、2 位ブラジル、3 位中国。

## なぞなぞ 100 このほん

M.ブラートフ 採集 松谷さやか 編・訳 M.ミトゥーリチ 絵

福音館書店 1994 年

「うまれたときからひげがはえているのはだれ?」、答えは「ねこ」。旧ソ連の昔話研究者が編んだ本より、100 個のなぞなぞを選び、ロシアの代表的な画家であるミトゥーリチがイラストを描いた絵本。少し難しいなぞなぞもあるが、イラストが大きなヒントとなっている。答えはページの端に逆さまに記されている。巻末にはどの民族のなぞなぞかを示した一覧がある。

## おおきなかぶ

A.トルストイ 再話 内田莉莎子 訳 佐藤忠良 画

福音館書店 1966 年

とてつもなく大きなかぶを皆で力を合わせて引き抜くというシンプルで筋立てのロシアの昔話絵本。日本の小学校の国語教科書にも登場する。「うんとこしょ どっこいしょ」のリズミカルなかけ声とともに、ロシアのお話が楽しめる 1 冊。

## Ренка (ロシア語)

### おおきなかぶ

2000

日本の子どもたちにも広く親しまれているロシア昔話のロシア語版絵本。本書は 2000 年頃にロシアで流通していたもの。挿絵を日本語版\*と見比べたり、キリル文字の独特な形に触れたり、いろいろな楽しみ方ができる。

\*: セットに『おおきなかぶ』(福音館書店)が含まれております。

## まほうの馬

A.トルストイ, M.ブラートフ 文 高杉一郎, 田中泰子 訳

E.ラチョフ 絵

岩波書店 1964 年

「まほうの馬」ほか、ロシアの伝統的な昔話全 12 話が収録された昔話集。繰り返しのリズムに富んだ骨太な再話文は、かつて肉声で語られていたことを髣髴とさせ、読み聞かせに向く。挿絵には、絵本『てぶくろ』\*で親しまれているラチョフが、ロシアの民族衣装をまとった動物を生き生きと描いており、文字の多い本が苦手な子どもにも比較的親しみやすくなっている。

\*: セットに含まれております。

## てぶくろ

エフゲーニ・M.ラチョフ 絵 うちだりさこ 訳  
福音館書店 1965年

1965年に日本で翻訳出版されて以来、多くの子どもたちから愛され続けているウクライナの昔話絵本。おじいさんが落としていった片方だけの手袋に、動物たちが次々と住みついていくというシンプルなお話。降り積もる雪や空の色の移り変わりが示す時の経過、手袋が少しずつ住み心地よいように工夫されていく様子など、絵のすみずみまでじっくりと楽しんでもらいたい。柔らかな温もりのあるラチョフの絵からは、動物たちの毛皮の感触まで伝わってきそうである。

## ペレのあたらしいふく

エルサ・ベスコフ さく・え おのでらゆりこ やく  
福音館書店 1976年

100年ほど前に生まれ、現在も読み継がれているスウェーデンの古典的絵本。ペレは、羊の毛を刈り取り、それで新しく自分の服を作ることにする。ペレが様々なお手伝いをするかわりに、刈り取った毛を梳いてもらったり、梳いてもらった毛を糸に紡いでもらったり、その糸を布に織ってもらったりと、羊の毛はだんだんと服の形に近づいていく。昔ながらの丁寧な手仕事の様子が、暖かみのある絵で丹念に描かれた絵本。

## スプーンおばさんちいさくなる

アルフ・プリョイセン さく ビョーン・ベルイ え  
おおつかゆうぞう やく  
偕成社 1979年

ある日突然、ティースプーンくらいに小さくなってしまったおばさんの楽しいお話。ノルウェーの児童文学作家であるアルフ・プリョイセンは歌手でもあり、ノルウェーの人たちに今でも広く親しまれている詩や歌を数多く書き残している。日本でスプーンおばさんといえば、スウェーデンの画家ビョーン・ベルイの絵がなじみ深いですが、ノルウェーではノルウェーの画家ボルグヒル・ルーが描いたスプーンおばさんの本が出版されている。

## 子どもに語るアンデルセンのお話

こぐま社 2005年

デンマークを代表する童話作家アンデルセンの生誕 200周年を記念したお話会で、ベテランの語り手たちが語りに向く文章に整えて語ったお話の中から、9話を収録。読んで聞かせることによって、子どもたちには思う存分物語の世界に浸ってもらいたい。巻末に収録されている語り手たちによる座談会では、アンデルセンのお話を語ってきた中でのエピソードが披露されており、興味深い。

## 金のがちょうのほん

レズリー・ブルック 文・画 瀬田貞二、松瀬七織 訳  
福音館書店 1980年

表題作ほか「三びきのくま」、「三びきのこぶた」など、日本でもよく知られているイギリスの昔話4話が収録されている。原書の初版は今から約100年前の1904年。イギリス古典絵本の流れをくむブルックの絵には、イギリスの風俗や画家のさりげないユーモアが随所に盛り込まれている。翻訳は、絵本『三びきのやぎのがらがらどん』や「ナルニア国シリーズ」など数多くの優れた海外作品を日本に翻訳紹介した瀬田貞二と、松瀬七織。

## ピーターラビットのおはなし

ビアトリクス・ポター さく・え いしいももこ やく  
福音館書店 1971年

イギリスで出版されてから100年以上を経た今も、世界中の子どもたちを魅了しているいたずらなうさぎピーターのお話。マクレガーさんの畑にもぐりこんだピーターは、マクレガーさんに見つかってしまい、命からがら脱出する。著者のビアトリクス・ポターは、少女時代から田園を愛し、小動物の観察やスケッチに没頭した。そのため、ポターが描く小動物は、かわいらしいだけでなく、動きもリアルに再現されており、とても生き生きとしている。

## 子どもに語るアイルランドの昔話

渡辺洋子、茨木啓子 編訳  
こぐま社 1999年

アイルランド人にとって妖精は身近な存在であり、妖精の登場する

昔話は数多く存在する。しかし、ケルト神話の神々がルーツと言われている妖精は、キリスト教とは相容れない存在として、負のイメージを背負って昔話に登場してくることも多い。少し怖いお話は、クラス単位の読み聞かせなど、大勢で楽しむとよい。アイルランドではもともと大人に向けて語られてきた話であっても、本書では子どもたちにわかりやすいよう工夫して翻訳されているとのことである。

### ぞうのババール

ジャン・ド・ブリュノフ さく やがわすみこ やく  
評論社 1988年

70年以上読み継がれているフランスの創作絵本。ぞうのババールは、お母さんを亡くし、狩人に追われて、やっとのことで町にたどり着く。そこで一人の優しいおばあさんと出会い、洋服を着たり、車の運転を覚えたりと、人間のような生活を始める。他に『ババールのしんこんりょこう』などがシリーズで出版されている。息子のロラン・ド・ブリュノフが書き継いだ続編もある。

### ねっこぼっこ

ジビュレ・フォン・オルファース 作 秦理絵子 訳  
平凡社 2005年

1906年の出版以来、1世紀以上に渡り子どもたちから愛され続けてきたドイツの古典絵本。ねっこぼっこ（直訳すると「根っこの子どもたち」）は、春の訪れと共に土の中で目覚め、色とりどりの花の服を身にまとい、外の世界へと出て行く。輝かしい夏を謳歌し、やがて木枯らしが吹き始めると、大地の母さんのふところに戻り、再び春が廻り来るまでの間、土の中で安らかに眠る。擬人化された植物の四季に、喜びと安らぎに彩られた幸せな子どもの日々のイメージが重なる。詩的で美しい訳文は、音読することによって耳にいつそう心地よく響く。作者のオルファースは1916年に34歳の若さでこの世を去ったが、彼女のどの作品もドイツ古典絵本の傑作として今も読み継がれている。

### Etwas von den Wurzelkindern (ドイツ語)

ねっこぼっこ  
von Sibylle v. Olfers  
arsEd c1990

『ねっこぼっこ』\*の原書。ドイツ語には基本のアルファベット26文字の他に、ウムラウト表記(Ä, Ö, Ü)やエスツェット(ß)など、ドイツ語特有の文字が用いられている。日本語版の『ねっこぼっこ』とセットで、日本語文と比較したり、ドイツ語文の雰囲気を楽しむなど、気軽に楽しんでもらいたい。

\*:セットに含まれております。

### 子どもに語るグリムの昔話 1

グリム 著 佐々梨代子, 野村滋 訳  
こぐま社 1990年

ドイツのグリム兄弟が収集、再話した昔話集から、日本の子どもたちに実際に語って喜ばれたお話を選りすぐった全6巻のシリーズ。その第1巻である本書は、「おおかみと七ひきの子やぎ」をはじめ、全12話を収録。原書に忠実な訳文であることに加え、子どもたちにわかりやすい表現が可能な限り使われており、語りや読み聞かせに向く。巻末には、実際のお話会での聞き手の反応が紹介されており、語りや読み聞かせを行う上で参考になる。

### ウルスリのすず

ゼリーナ・ヘンツ 文 アロワ・カリジェ 絵 大塚勇三 訳  
岩波書店 1992年

春の初めのお祭り「鈴行列」に参加する、山の子ウルスリのお話。絵本の舞台となっているのはスイス、エンガディン地方のグアルダ村で、この地の自然と子どもたちの様子が生き生きと描かれている。グアルダに住む詩人、ゼリーナ・ヘンツが作った物語に、カリジェが挿絵を描く形で『ウルスリのすず』、『フルリーナと山の鳥』、『大雪』が発表された。カリジェは『ナシの木とシラカバとメギの木』で1966年国際アンデルセン賞画家賞を受賞している。

### りんごの木

エドアルド・ペチシカ 文 うちだりさこ やく  
ヘレナ・ズマトリーコバー え  
福音館書店 1972年

小さな男の子マルチンが庭のりんごの木に実がなるまでの1年間をとても楽しみに過ごす様子を描いた、季節感のあるチェコの創作絵本。

漢字の使われていない平易な訳文、色調の柔らかい絵、子どもたちの小さな手にじっくり収まるほどよい版型なので、思い思いに手にとって見たり、友だちと一緒に覗き込んだりして楽しんでほしい。

### ラチとらいおん

マレーク・ベロニカ 文・絵 とくながやすもと 訳  
福音館書店 1965年

弱虫な男の子ラチのところに、ある日小さな赤いらいおんが現れる。らいおんに励まされながら、ラチは次第に強い男の子になっていくが、やがてらいおんがラチのもとを去る日がやってくる。邦訳されてから40年以上読み継がれているハンガリーの創作絵本。版型が小さいので読み聞かせに使う場合は少人数で行うとよい。

### 千びきのうさぎと牧童

ポラジンスカ 文 内田莉莎子 訳 M.ブィリーナ 絵  
岩波書店 1972年

ポーランドの昔話集。ポーランドの民間伝承を研究し、昔話やわらべうたなど多くの作品を書きのこしたポラジンスカの昔話集から、7つの話を選び、翻訳したもの。表題の「千びきのうさぎと牧童」は、通りすがりの老人に親切を施した心優しい若者が、老人から授けられた3つの贈り物を用いて殿さまが命じた課題をやり遂げ、さらには自分自身の機知によって幸福をつかむという話。挿絵もポーランド人の画家による。

### りこうなおきさき

モーゼス・ガスター 文 光吉夏弥 訳 太田大八 絵  
岩波書店 1963年

ルーマニアで長く語り継がれてきた昔話13話を集めた昔話集。本のタイトルにもなっている「りこうなおきさき」は、大臣の娘が王様の出す難しい問題を次々に解決していくという、機知にあふれた謎解きが楽しいお話。読み聞かせに向き、図書館のお話会などで素話として語られることも多い。ルビがしっかりとふられているので、子どもたちにとっても読みやすい。

### 子どもに語るイタリアの昔話

剣持弘子 訳・再話

こぐま社 2003年

地中海に囲まれ、外国との行き来が船を中心になされてきたイタリアでは、オリエント（東方）の香り漂う昔話が数多く語り継がれている。本書では、19世紀の民話資料集と新しい民話資料集の中から、陽気で人情味にあふれるイタリアの昔話15編を収録。特にこれまで紹介されることの少なかった、小さい子どもたちでも楽しめるお話が収録されており、語りや読み聞かせに向く。

### 天からふってきたお金

アリス・ケルジー 文 岡村和子 訳 和田誠 絵  
岩波書店 1964年

トルコに伝わる「ホジャ」の楽しいお話。その昔、実在していたといわれるナスレディン・ホジャは、イスラーム文化圏やトルコ、トルコ系民族の間では、笑い話の主人公として有名。知恵がまわるかと思うと、ちょっと間の抜けたところもあるホジャのとんち話全16話を収録。著者のアリス・ケルジーは、トルコ在住経験のあるアメリカの作家。トルコ人たちからホジャの話聞き、本書を執筆したという。

### もどってきたガバタばん

渡辺茂男 やく ギルマ・ベラチョウ え  
福音館書店 1997年

エチオピアの昔話。「ガバタばん」とは、ゲームに使う木製の将棋盤のこと。男の子のお気に入りのガバタばんを、男たちが薪の代わりに燃やしてしまう。代わりに男の子はナイフをもらう。その後、ナイフがやりになり、やりが馬になり、そしてめぐりめぐって再びガバタばんになるまで、昔話特有の繰り返しの表現でテンポよく語られていく。昔話集『山の上の火』\*に収められている「しょうぎばん」を絵本化したもの。ガバタばんを使った遊びの様子がわかりやすく挿絵に描かれている。

\*: セットに含まれております。

### 山の上の火

ハロルド・クーランダー, ウルフ・レスロー 文  
渡辺茂男 訳 土方久功 絵

岩波書店 1963年

エチオピアの昔話集。紀元前 11 世紀頃よりアフリカで独立国を築いていたエチオピアは、国土の大部分が標高 2,000m 超の高原に位置し、種族や宗教の異なる様々な人々が住んでいる。表題の「山の上の火」は、凍えるほど冷たい風の中で、一晩中きものを着ずに立っているかどうか、賭けをした男の話。その他、機知にとんだ主人公が意地悪な相手をやりこめる話、底抜けに明るい笑い話など、全 15 話が収録されている。うち、「しょうぎばん」は絵本\*になっている。

\*：セットに『もどってきたガバタバん』（福音館書店）が含まれております。

### かしこいカメのおはなし

フランチェスカ・マーティン さく 福本友美子 やく  
ポプラ社 2000年

タンザニア南部で長い間語り継がれてきた昔話。ニャサ湖のほとりで、象とカバが力自慢の大騒ぎ。ところが、小さいけれどもかしこいカメが、見事に騒ぎを収めてしまう。文章のところどころにタンザニアで使われているスワヒリ語の音が散りばめられ、現地の画家が描いた鮮やかな挿絵が印象的な絵本。

### おばあちゃんにおみやげを

イフェオマ・オニェフル 作・写真 さくまゆみこ 訳  
偕成社 2000年

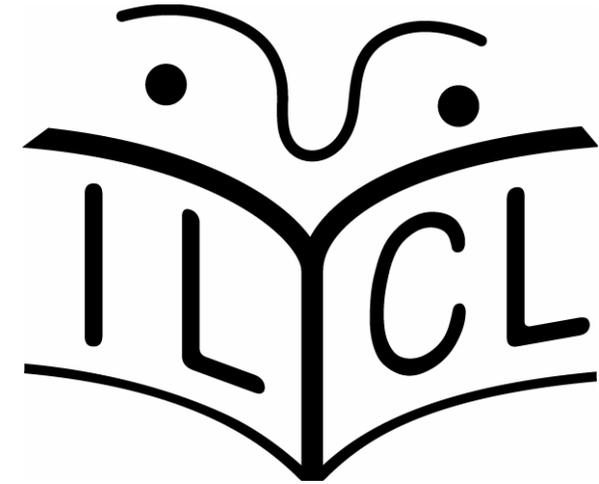
ナイジェリア南部のイバシ村に住むイガラ人の男の子エメカが、おばあちゃんにあげるお土産を探しながら、おばあちゃんと 10 人のいとこたちに会いに行くまでを描いた、やさしい数の本。文章は簡潔そのもの、写真は大きく見やすい。ナイジェリアの子どもたちの様子や、人々の暮らしの道具などが紹介されており、ナイジェリアを身近に感じることのできる 1 冊。

### バオバブのきのうえで

ジェリ・ババ・シソコ 語り みやこ・みな 再話 ラミン・ドロ 絵  
福音館書店 2005年

アフリカ、マリの昔話。みなしごになった赤ん坊が、村人たちの手によって森に捨てられ、森のけものたちに育てられる。やがて成長した男の子が、自分を捨てた村には雨の恵みをもたらされないようにと

願い歌ったため、村では作物がとれなくなり、みな困り果ててしまう。語りのジェリ・ババ・シソコは、マリの職業的語り部の 1 人。ジェリとは、楽器や歌にのせて部族の歴史などを口承で語り継ぐ伝統的な世襲の職業。挿絵もマリ人による。



子どもの本は世界をつなぎ、未来を拓く！

国立国会図書館 国際子ども図書館  
児童サービス課 企画推進係  
〒110-0007  
東京都台東区上野公園 12-49  
TEL : 03 - 3827 - 2053  
URL : <http://www.kodomo.go.jp/>

2007年3月1日

※この冊子は返却する必要はありません。